

2年 社会 週3時間 担当：黒須 大輝

1 教科の到達目標（学習のねらい、身に付けたい力）

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。

2 年間学習計画と単元（題材）

学期	月	題材名・単元名	学習内容	達成目標（ねらい）
1 学期	4	<地理的分野> ・日本の地域的特色と地域区分	・自然環境の特色 ・人口の特色 ・エネルギーや産業の特色 ・交通網・通信網の特色 ・日本の地域区分	(知) 日本の地形や気候、自然災害などから日本の自然環境について理解できる。 (知) 少子高齢化など日本の人口に関する特色を理解できる。 (知) 日本の資源やエネルギー利用の課題から、日本の資源とエネルギーと産業に関する特色を理解できる。 (思) 日本の地域的特色について、それぞれ地域区分などに着目して、それらを関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現できる。
	5	・日本の諸地域	・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方	(知) いくつかに分けた日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解できる。 (思) 日本の諸地域において、中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現できる。
	6		・地域調査	(思) 地域の実態に関心を持ち、よりよくするためにはどうしたらよいか課題を見つけ、考察し表現できる。
	7		・持続可能な地域の在り方	(知) 主題図や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けることができる。
	9			(思) 地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目し、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現できる。
			・身近な地域の調査 ・地域の在り方	(知) 地域の実態や課題解決のための取組を理解できる。 (知) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切にまとめる手法について理解できる。 (思) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。
	2 学期	10	<歴史的分野> ・近世の日本と世界	・室町幕府の成立 応仁の乱 室町文化 ・結びつく世界との出会い ヨーロッパ世界とイスラム世界 宗教改革 大航海時代 鉄砲とキリスト教の伝来
11			・天下統一への歩み 織田と豊臣の統一事業 南蛮文化と桃山文化	(知) 江戸幕府の成立や幕府の対外政策、幕府と藩による支配が確立したことを理解できる。
			・幕藩体制の確立と鎖国 大名統制 鎖国政策 身分制度	(知) 町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解できる。
12			・経済の成長と幕政の改革 元禄文化 化政文化 政治改革 新たな学問	(知) 社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革などから、幕府の政治が行き詰まりを理解できる。

3 学 期	1	・近代の幕開け	・近代世界の確立とアジア アメリカ独立戦争・独立宣言 フランス革命人権宣言 産業革命 資本主義社会	(思) 近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現できる。 (知) 欧米諸国における産業革命や市民革命などから欧米諸国が近代社会を成立させたことを理解できる。
	2			
	3	・近代の日本と世界	・開国と幕府政治の終わり 倒幕攘夷運動 幕府滅亡 ・明治維新と立憲国家への歩み 富国強兵・殖産興業 自由民権運動 ・激動する東アジア 日清戦争 日露戦争 条約改正 ・近代の産業と文化の発展 日本の産業革命	(知) 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策など明治維新によって人々の生活が変化したことを理解できる。 (知) 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などから、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的地位が向上したことを理解できる。 (知) 日本の産業革命、国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展から、近代文化が形成されたことを理解できる。 (思) 近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現できる。

3 評価方法

各 観 点	評 価 規 準	評 価 方 法
知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係に関して理解するとともに、調査や諸資料からさまざまな情報を効果的に調べまとめている。	・定期考査・小テスト・ワーク ・振り返りプリントの記述 ・レポート
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらをもとに議論したりしている。	・朝学習プリント・定期考査 ・課題レポートの記述 ・振り返りプリントの記述
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家および社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	・授業態度・発言・ノート ・課題レポート ・振り返りプリントの記述

4 授業の取組についてのアドバイス

- ・地理では白地図や雨温図などの資料を活用できるが多いです。色鉛筆を準備しましょう。
- ・社会科は暗記科目ではありません。「なぜ?」「どうして?」「どのように?」などの疑問を大切に、それらを解決しようとするのが重要です。
- ・自分の考えを周りに伝えることがとても大切です。グループ活動やクラス全体での話し合いに積極的に参加しましょう。
- ・ポートフォリオ(単元カード)の質を上げていきましょう。

5 家庭学習の進め方についてのアドバイス

- ・プリントで授業を進めます。その日に授業内容を復習しましょう。
- ・ワークを繰り返し取り組み、基本知識を定着させましょう。

6 定期考査前の取組についてのアドバイス

- ・授業プリント、教科書、ワークを復習し、重要事項を確認しましょう。
- ・例年都立入試には記述問題もあるので、苦手意識をもちず、チャレンジしましょう。

7 苦手な人の取組についてのアドバイス

- ・授業に集中し、その日のうちに授業内容を復習し、理解を深めよう。
- ・自分のわからないところを明確にして、休み時間などに積極的に質問しましょう。